

中間整理たたき台(案)からの主な変更点

番号	頁	項目	段落	変更内容
1	2	II. 1. 沿革、現状の取組と課題	7	選定保存技術保持者の高齢化、後継者不足を示すデータを追記。
2	4	II. 1. 沿革、現状の取組と課題	4	「人間国宝」の関連記載を削除。
3	4	II. 2. (1) (ア) 選定保存技術・認定対象の拡大	5	技術や継承状況に関する定期的・継続的な調査の必要性について追記。
4	5	II. 2. (1) (イ) 保持者・保存団体の活性化	2	「分野を超えた横のネットワーク」の具体例を追記。
5	5	II. 2. (1) (イ) 保持者・保存団体の活性化	4	サポートする体制の内容、人材育成について追記。
6	5	II. 2. (1) (ウ) 社会的認知度の向上	7	「人間国宝」の関連記載を削除。
7	6	II. 2. (2) 文化財の保存技術に係る人材養成・確保	1	後継者養成の具体的な強化内容を追記。 認定資格が団体独自の制度であることを明確化。
8	6	II. 2. (3) 文化財修理等に係る分野横断的な拠点整備	4	センターに関する記載を充実。
9	8	III. 1. 現状の取組と課題	5	芸能分野の需要に関して追記。
10	8	III. 2(1) 用具・原材料に係る調査・研究	6	調査で得られた知見の集約の必要性について追記。
11	9	III. 2(2) 用具・原材料の安定的な確保	1 2	用具・原材料の安定的な確保の方法を具体化。
12	9	III. 2(3) 用具・原材料に係る情報発信、需要の創出	4	文化財建造物に伝統的な和紙の活用を推奨する際の留意事項を追記。
13	9	III. 2(3) 用具・原材料に係る情報発信、需要の創出	5	芸能分野の需要に関して追記。
14	10	IV. 1. 現状の取組と課題	3	持続可能な開発目標（SDGs）に関する記載を追記。
15	10	IV. 1. 現状の取組と課題	5	地方公共団体における文化財の保存修理に関する状況について追記。
16	10	IV. 1. 現状の取組と課題	8	国庫補助事業において、寄附により自己資金を調達した際の補助率加算の仕組みについて追記。
17	11	IV. 2. 検討の方向性	3	地方公共団体の職員等に対する文化財の保存修理に関する啓発について追記。
18	11	IV. 2. 検討の方向性	4	多様な資金調達の促進方法を具体化。